

最近の肥満・メタボリックシンドロームに関連する話題について

厚生労働省の平成 29 年「国民健康・栄養調査」では、肥満者（BMI \geq 25 kg/m²）の割合は男性 30.7%，女性 21.9%であり、この 10 年間で男女とも有意な増減は見られず、改善を要する重要な課題である。

肥満の中でも肥満に起因する健康障害を合併し、医学的に減量を必要とする病態を肥満症という。一方で、BMI 値で肥満と診断される人の中には、代謝的に健康な肥満（metabolically healthy obesity; MHO）と呼ばれる代謝異常を合併しない肥満が存在する。さらに、代謝的に不健康な正常体重（metabolically unhealthy normal weight; MUH-NW）も存在する。近年、MUH-NW が様々な疾患の発症リスクになることが注目されている。

今回の抄読会では、肥満やメタボリックシンドロームに関する知見をまとめて紹介する。そして、MUH-NW に関する研究を 1 つ紹介する。紹介する論文は、日本人の健診データを用いた研究で、代謝正常な受診者が代謝異常を呈するリスクとして、脂肪肝の存在に注目したものである。

今後おこなっていく課題研究については、特定健診で指導の対象にならない正常体重の集団のリスクに関連したテーマを設定したいと考えている。

文献

Hashimoto Y, Hamaguchi M, Fukuda T, Ohbora A, Kojima T, Fukui M. Fatty liver as a risk factor for progression from metabolically healthy to metabolically abnormal in non-overweight individuals. *Endocrine* 2017 Jul;57(1):89-97.